

6

一般社団法人 日本駆け込み寺

□公開日時:平成 24 年 5 月 14 日(月)

□相談年度:平成 23 年度

■失恋から借金をした29歳外資系銀行のOL■

～欲しくないのに買い物せずにはられない～

- 仮名: 石井さん
- 年齢: 29歳
- 性別: 女性
- 問題: 借金

不倫相手との恋が終わってから買い物依存症になり、ショッピングローンとサラ金の多重債務を抱えたOL。借金だけではなくうつ病に。
石井さん(仮名・29歳)は大学を卒業して外資系銀行に勤務している。

【女性は遊興費で身を滅ぼしかける人が多い】

生活苦から借金を作った場合でも、女性のほうが借金能力はないため、100万か200万がせいぜいだ。若い女性に多いのは、ショッピングローンとか、ホストで使い込んであっという間に、300万円、500万円の借金を抱えるケース。若い女性は生活苦よりも遊興費のための借金が多いのだ。

【～亡羊補牢～借金は時間が経っても解決しない】

石井さんは、ショッピングローンとサラ金で約500万円の負債を抱えていた。彼女は、勤務先が外資系銀行だけあって給料がいい。約半年間うつ病で休業したときも、給料はきちんと満額支給されたそうである。でも、うつ病でもローンの請求がどんどん来る。外資系銀行勤務で信用もあるため、クレジットカードも作りやすい。石井さんはカードでブランド品を買っても、だいたい10日ぐらいで質屋に売ってしまう。例えば、10万円で買ったバッグだとしたら、質屋では約3万円で買い取りになる。「いったい何のためにそんなことをしているの?」と聞いたら、「いや、本当は欲しいわけではないんです」と言う。要するに、買い物依存症だった。不倫していた男にふられたのがきっかけでそうならしい。物を買っては質屋に売り、その差額分がどんどん借金になっていった。やはり会社にもサラ金から問い合わせが来る。もちろん自宅へ電話はかかってくるし、催促の手紙も来る。石井さんは「このままでは、借金のかたに風俗へ売られてしまうかもしれない。逃げるしかない」と妄想を膨らませておびえていた。

【自己破産しても解雇されない】

債務整理には任意整理とか他にもあるが、石井さんは賃貸アパートに住んでいて、財産といえるものは何もないから、自己破産が一番手取り早い。自宅などがあるとそれを売らなければならないが、そういうものもない。ただ、石井さんは自己破産したことが公務員の職場に知られて、解雇されることを恐れていた。自己破産すると官報に住所と名前が載る。官報なんてだれも見ないものである。ものすごく細かい字で書かれており、しかも毎日出ているので、関係者以外で見る人はいないだろう。それに、自己破産にして官報に載っても裁判所から会社に通知がいくことはないし、もし自己破産が会社に知れても、自己破産は解雇する理由にはならないのである。

【自己破産によって依存症が治る】

自己破産という荒療治によって石井さんの買い物依存症が治ったのである。もうカードが作れないので、すべて現金になった。カードがないとキャッシングもできない。1,000円札、1万円札といった現金で払うと、もったいなくてそんなにお金は使えないものだ。依存症からようやく解放されたのだ。たまたまうつ病になっていて、その時の心療内科の先生に支えてもらったのもよかったのかもしれない。石井さんの職場では、うつ病もちゃんと認められて、労働災害で8ヶ月間も休むことができ、そのあと無事に復帰できた。ただ上司には自己破産したことがわかってしまったのだが、外資系銀行は自己破産してもちゃんと人権が守られていた。そうでなかったら、「銀行員ともあろうものが、何が自己破産だ」と嫌味を言われて働きづらくなっていたかもしれない。

歌舞伎町の「駆け込み寺」



4月27日 東京新聞夕刊(日本駆け込み寺相談員養成学校の記事)

よろず相談員養成

【ここが POINT】

このようなケースで大切なことは、相談に来た人を責めないことである。「どうしてそんなに買い物をするんですか?」と彼女を責めても何も解決にはつながらない。すでに借金はあるのだから、これからどうすればいいのか、それについて相談に乗る。借金を責められたら、彼女は二度と相談には来ないだろう。それこそ風俗の世界へ行ってしまうかもしれない。

私は自己破産に向けての借金の整理や弁書士への依頼等は、相談者自身でやってもらうようにしているが、そうやって自分自身で順を追って解決できるという手ごたえがあると、自分に自信が持てるようになり、借金をしなくなるものだ。